



完成予想図

働く身障者のための 文化体育施設を建設

雇用促進事業団

11月10日に

完成予定

心身障害者の健康増進や教養文化の向上を図るとともに市民との交流の場として活用が期待される「勤労身障者教養文化体育施設」が、いよいよ三月下旬から着工されることになりました。

この施設は、市が中央公民館跡地の一部を雇用促進事業団に提供して建設されるもので、敷地面積は三千二百二十四平方メートル、鉄筋コンクリート造平屋建となっています。メインとなる体育施設は七百九十二平方メートル、多目的室や視聴覚室、相談室、情報・図書コーナーなどの教養文化施設が七百六十六平方メートルとなっています。また玄関前には車イスでも入れるようにスロープを設け、トイレや更衣室、シャワー室などは身体障害者が安心して利用できるように設計となっています。体育室は、バレーボールコートで二面、バスケットコートなら一面がとれ、現在の市民体育館のフロアより広くなっており、事業団が全国に建設した同様の施設の中でもっとも大きいものになります。

建設後の管理運営については、事業団から秋田県に、さらに当市

が再委託を受けることになり、実質的には市の所管施設として恒久的に自主運営となり、一般市民にも開放されることとなります。また、今年建設が予定されている中央公民館との有機的利用も図られることとなります。完成は今秋、十一月十日に予定されています。なお、二月二十六日建設業者を決める入札が行われ、次の業者に決まりました。

二億八千万円

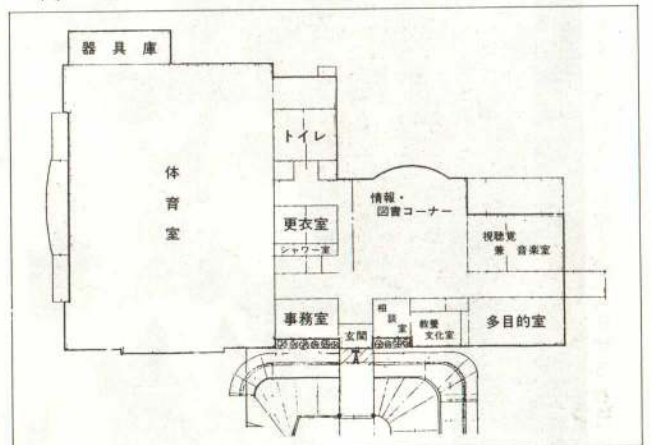
丸山建設・伊藤組建設
共同企業体

4月1日オープン

花岡公民館が完成

花岡公民館は昭和三十九年に建設、以来花岡地区の文化、交流の場として親しまれてきましたが、老朽化が著しくなってきたことから、今回の改築となったものです。新公民館は、国民年金からの還元融資を受け、総工費一億一千八百十六万円で建設されたもので、木造一部鉄筋平家建て、床面積九百三十三平方メートルとなっています。バレーボールコート一面がとれる講堂や、約百五十人がはいれる研修室があるほか、防音装置のついた会議室もあり、音楽会など各種サークルの活動が期待されています。

花岡公民館長の山本久松さんは「新しい公民館で、会費制の結婚



▲配置図



▲花岡保育所隣りに建設された公民館
(花岡公民館 ☎46-1161)

ができるようになり、地区住民はたいへん喜んでいました。これからは、若い人たちが気軽に集うことができる明るい公民館にしていきたい」と話していました。

市長の 対話ノート

さあ進学だ



No.106

中学校へ、そして高校へ向って卒業される皆さんおめでとうございます。それ以上に、小学校六年間、中学校三年間の活躍と努力に深く敬意を表します。

お世話になった諸先生や後輩、そして生活を共にした校舎にさまざまな思い出を残して巣立つくらい心はみな同じだと思います。これからは展望と希望に満ちた新しい生活と学校、先輩が待っているのです。期待と不安の同居する思いでしょうが、それは人間として成長するための必要な過程であるのです。

皆さんの進む新天地は青春の真っただ中です。何よりもこの青春を悔いのない充実した生活にして欲しいのです。勉強もクラブ活動も、この生活の中の一部であり、逆の現象、すなわち勉強に合せた生活であってはならないと思います。私たちは人間としての人格を高めるために、いろいろな努力を重ねているのですが、勉強もその一つであります。しかし一つであって全部でないことを忘れてはなりません。どうか、新天地で思う存分の活躍を心から期待いたします。そしてお父さん、お母さん、お子様の個性を十分伸ばしてやる家庭環境をつくってやるようにお願い申し上げます。

山本健治郎